

広報



あひこ 2月16日

令和2年(2020年) No.1495

〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地

我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室

☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-1520

主な内容

市議会定例会は26日開会	2面
住まいに関する制度	2面
“地域会議”で住みよいまちに	3面
第6回 ふるさと産品まつり	4面
すこやかちゃんを募集	5面
東葛スポレク祭	5面
事業者向け・起業応援情報を配信開始	6面

大正時代に建てられた旧村川別荘で「ひなのまつり」を開催します。

今年は「花」をテーマに、つるしびなやひな壇飾り、干支にちなんだネズミの人形が、別荘を華やかに彩ります。かわいらしいお雛様がお待ちしています。ぜひお越しください。

日時 2月26日(水)～3月4日(水)午前9時～午後4時(月曜休館) ※入館は午後3時30分まで

場所 旧村川別荘(寿2の27の9)

※駐車場はありません。我孫子駅南口発の阪東バスで「市役所」下車徒歩5分。

費用 無料

☎ 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583

市指定文化財

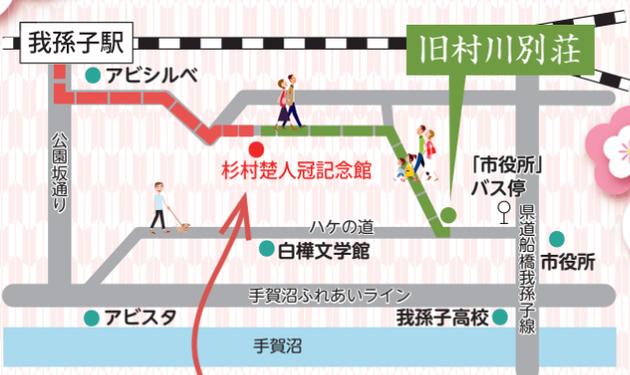
旧村川別荘

ひなのまつり



つるしびな

発祥は江戸時代といわれています。当時、一般の家庭においてひな人形はとても高価なものでした。そこで、生まれてきた子どもたちの幸せを願う気持ちを少しでも形にしたいと、母・祖母・叔母・近所の人たちが少しずつ小さな人形を作り、それらを持ち寄ってつるしました。これが「つるしびな」の始まりです。人々の思いが詰まったひな人形は、時代を越えて現代にも受け継がれています。



我孫子駅から徒歩 10分

「ひなのまつり」を楽しむ前に、ひとやすみ見ごろのツバキがあなたを待っています

杉村楚人冠は濃い緑の葉の中に咲くツバキの花の風情を好み、埼玉県川口市安行などの産地から買い付けたり、気に入ったものをもらい受け、ツバキのコレクションを作り上げました。コレクションは、現在も杉村楚人冠邸園に残っています。

場所 杉村楚人冠記念館(緑2の5の5)



▲春曙紅



▲紅太神楽

この別荘は、親子ともに西洋古代史学者だった、村川堅固が建設し、堅太郎が守ったことにより、今に残りました。

大正6(1917)年、堅固が水辺の環境を気に入り、手賀沼を一望できる丘の中腹に別荘を設けました。母屋と新館の二つの建物からなっており、母屋は大正10(1921)年に我孫子宿本陣の離れを解体・移築した純和風の建物、新館は昭和2(1927)年に新築された朝鮮風の建物です。大きなガラス窓からは四季折々の美しい景色が楽しめます。

杉村楚人冠記念館から徒歩 15分

旧村川別荘



▲母屋



▲新館

旧村川別荘には、ボランティアの市民ガイドが常駐し、別荘のご案内をしています。ガイド活動に興味のある方はお問い合わせください。

アビシルベでは3月3日(火)～10日(火)午前9時～午後6時に「折りびな展示」を開催します。また、湖北台・新木近隣センターなどでも2月初旬からひな人形を飾ります。ぜひお立ち寄りください。